

# 平成28年度事業報告書

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日

公益財団法人 致道博物館

平成29年6月14日

## 概 況

公益財団法人に移行してから6年目の今年度は下記のと通りの事業を実施した。

公益目的事業1の重点事業(1)の重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業(国・山形県・鶴岡市補助金で実施)では、5月末には第3期工事(曳屋などの基礎工事)が終了し、木工事及び屋根工事を主として行なわれた。木工事は主に床板張りや壁面の組立、壁面や天井面に構造用合板や補強金具等を入れ耐震補強とした。また、屋根工事は屋根組や瓦葺きを1月まで終了し、棟端飾り(ファイニアル)3本が完成した。9月には文化庁調査官が来館し、現場の指導を行うとともに継続する防災施設事業の検討も図られた。

保存管理事業では例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じて適正な保存管理に努めた。

教育普及事業では、講演会やシンポジウム、講座、教室などに延べ442名が参加受講した。6月11日に「鶴岡大学蔵コレクション展 禅 ZEN~描かれた禅の世界~」展関連の特別講演会では駒澤大学学長廣瀬良弘氏より「禅と地域社会」と題して記念講演会を行い76名が参加、山形県のみならず東北地方に多い曹洞宗の寺院の背景について詳細データに基づき話された。昨年に引き続き古文書講座では、新たに「もんじょ部」の名で立ち上げ「出羽庄内酒井家文書」を中心に解説と整理を行い、史料を使いながらの解説と読み方を知る内容で好評だった。

公益目的事業2の展示事業では、企画特別展(山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催)12件、グループ展1件、ロビー展4件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連して列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、実演などを実施し、好評を博した。特に10月開催の特別展「SAMURAIの美 出羽庄内藩酒井家ゆかりの名品」では、所蔵の信濃藤四郎吉光(重要文化財)が昨今の刀剣ブームを牽引した「ゲーム刀剣乱舞-ONLINE」のキャラクターとなったため連携し、初日開幕式には300人を越え、「刀剣女子」と呼ばれる若い女性が館内を賑わせた。本展は期間中一日平均400名を越え、一つの展覧会で計12,338名の入館者となった。また一日当たりの入館者が150名以上だったのは、7月の「生田宏司銅版画メゾチント展」(174人/日)、8月の「平成28年度新作名刀展」(160人/日)、3月の御隠殿で開催した川内由美子ミニチュアコレクション(150年前の欧州製のままと食器)を含む「鶴岡雑物語」(154人/日)及び5月の「古絵図大集合 出羽一国大絵図展」(152人/日)であった。展覧会別での入館者数の増減はあるが、全体的に入館者総数が昨年度より16%増の計46,311名となった。

公益目的事業3の国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存活用事業は、平成25年度より鶴岡市から指定管理者の指定を受けて行っている事業である。施設保存管理事業では外構・建造物の適正な管理を行い、展示事業では御入間で致道館流論語素読をBGM風に常時放送、普及教育事業では「致道館文化の学習と庄内論語の素読」と題して教育体験講座を行い、好評を博した。他団体主催の講座や研修会、また学校の課外授業としての当施設利用に協力し、文化継承の役割を担う施設として運営した。

最後に7月1日に「松ヶ岡開墾場」内の第一番蚕室及び第四番蚕室等を鶴岡市に移譲したこと、また9月12日山形県で「第36回全国豊かな海づくり大会」が開催された際に、天皇皇后両陛下が松ヶ岡開墾場を行幸啓され開墾記念館を酒井館長の案内で見学なされたこと、今年2月末に構内トイレのリノベーション工事を行ったことを報告する。

### 1. 公益目的事業1 (事業の内容~歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

#### 1-1 重点事業

##### (1)重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業

昨年度に引き続き設計監理を公益財団法人文化財建造物保存技術協会(東京)と契約し、第1期・第3期・第4期の工事の請負業者として(株)山口工務店が行った。5月末には昨年4月に着手した曳屋などの基礎工事を中心にした第3期工事が終了、本年は特に木工事や屋根工事を主として行われ、特に木工事は一階・二階の床板張りや壁面の組立、壁面や小屋組に構造用合板や補強金具等を入れ耐震補強とした。また、屋根工事として屋根の組立や下地に杉皮を敷き、新調した瓦を用いて葺き、一昨年より準備していた棟端飾り(ファイニアル)3本が完成した。9月には文化庁調査官が来館し、現場の指導を行うとともに防災事業の検討も図られた。また昨年度に引き続き当事業に伴う寄付募集を行った。法人各社や個人方々からご寄附をいただき感謝申し上げます。

## (2) 文化資源調査事業

当館が所蔵する歴史資料などを調査研究し、その成果を公益性の高い文化資源として社会に還元するために、『大泉叢誌』の筆写・解説・点検・データ入力を実施して活字化を実施、その一部の『大泉叢誌』第4集（巻23～24、49、79、104～107、122～123）300冊を出版刊行した。また、『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約200点を解説整理した。

### 1-2 保存管理事業

#### (1) 指定文化財の保存管理事業

##### ①重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・重要文化財旧渋谷家住宅の防災設備（自動火災報知設備・消火設備・避雷設備）、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

##### ②名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防（駆）虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

##### ③国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

##### ④史跡松ヶ岡開墾場内の第一番蚕室（松ヶ岡開墾記念館）・第四番蚕室（庄内農具館）の防災設備の保守点検を実施した。

#### (2) 博物館資料の保存管理事業

##### ①歴史的建造物等の保存管理

御隠殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備等の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

##### ②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装資料・冊子資料の補修・修理、作品資料の額装、美術工芸品や庄内竿・民具等の手入れなどを実施した。資料台帳の整備（コンピュータ入力）を進めた。

##### ③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の重要有形民俗文化財「米作り用具」収蔵庫や第一番蚕室の「松ヶ岡開墾記念館」や第四番蚕室の「庄内農具館」に展示収蔵している博物館資料を日常管理で実施した。

### 1-3 展示事業

#### (1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

### 1-4 教育普及事業

#### (1) 講演会・講座事業

##### ①公開講演会

■平成28年6月11日（土） 於：東北公益文科大学大学院ホール

駒澤大学所蔵コレクション展 禅 ZEN ～描かれた禅の世界～ 展特別講演会 廣瀬良弘氏（駒澤大学学長）  
「禅と地域社会」 参加76名

■平成29年2月25日（土） 於：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

東京友の会の集い 講演会 講師 岩淵令治氏（学習院女子大学教授）

「庄内藩の江戸暮らし」 参加者101名

## ②土曜講座

- 7月30日(土) 今野 章氏(鶴岡市郷土資料館) 「日記でみる松森胤保」 参加者 27名  
9月3日(土) 阿部博行氏(鶴岡市市史編纂委員) 「黒崎研堂と幸吉」 参加者 30名  
11月5日(土) 菊地和博氏(東北文教大学短期大学部特任教授)  
「庄内のオコナイサマと家々の神々」 参加者 36名

## ③中国古典講座

- 日時 4月～11月の毎月7日 8回開催  
内容 中国古典「論語」の講義並びに「詩経」の素読  
講師 犬塚幹士当館理事(講義) 水野貞吉荘内南洲会理事長(素読)  
受講生 17名(一般) 延出席人数 77名

## ④古文書講座「もんじょ部」

- 日時 8月21日・8月29日・9月12日・9月26日・11月14日・11月28日・1月16日  
1月30日・2月13日・2月27日 計10回開催  
内容 昨年発刊した『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方を解説。また、新出古文書の整理を行った。  
講師 菅原義勝学芸員 受講生 10名 延出席人数 95名

## (2) 出版事業

- ①館報「致道」53号(3000部) 平成29年2月発行  
②『大泉叢誌 巻23～24、巻49、巻79、巻104～107、巻122～123』(300冊)\*前述平成29年3月31日発行

## (3) 伝統文化普及事業

- ①各流合同茶会 5月29日(日) 於:致道博物館内に4席 表千家・裏千家・遠州流・大日本茶道学会の合同茶会 参加者 365名  
②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催) 5月下旬～8月上旬毎週土曜日・7月下旬～8月上旬毎日早朝(5:40～6:15) 15回開催 『論語抄』の素読 6/29 史跡文化財巡り(酒田松山地区の文化財と史跡城輪柵跡の見学)  
講師 水野貞吉氏(致道館文化振興会議)・氏家登志雄氏(同左)・三矢正士氏(同左)・加藤徹三(致道博物館)・酒井英一(同左)・本間 豊(同左)  
受講生 14名(小学3年生～中学3年生) 延出席人数 175名  
③やまがたアトライン事業の参加(主催 実行委員会/事務局 山形県県民文化課内)  
\*「東北文化の日」 10月29日～11月27日  
・期間中の土日曜日祝日は小中学生の入館料無料 参加したこどもの人数 81名  
④姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)・刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)・庄内民俗学会例会に協力 於:致道博物館講座室  
⑤おしごと体験フェスタ2016(主催:公益社団法人鶴岡商工会議所) 7月21日(日)  
受付体験(午前)/学芸員体験(午後) 小学校4～6年生:4名参加

## (4) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月(229日間)  
解説員 15名 延活動人数 436名  
②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月22日～8月27日  
実習生/ 弘前大学生1名・東京農業大学生1名・神奈川大大学院生1名 計3名  
実習内容/ 美術工芸品(掛軸・陶磁器・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、資料の整理と保存、拓本技法、写真撮影技法、資料修復と資料化、近隣文化施設見学  
③研修会の主な依頼

・鶴岡市新採教員初任者研修 7月28日(月) 受講新採教員20名、事務局5名

研修内容／庄内の歴史と文化・致道博物館の概要と主な資料

④先賢を偲ぶ会 平成29年2月12日(日) 於:御隠殿、講座室(直会)

内容／拝礼、講話・山田陽介(元県立高校校長)「西郷南洲先生の漢詩について」参加者30名

⑥東京友の会の集い 平成28年2月25(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)(前出)

⑦博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数17件

相談内容／書の解説・古文書の解説・酒井忠徳俳諧資料・酒井家文書・刀剣の保存などに関すること

⑧庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学会の活動に協力

⑨広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。

## 1-5 調査研究事業

(1)文化資源調査事業(前出)

(2)庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理

## 2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

### 2-1 展示事業

(1)企画特別展示事業(主催事業)

於:美術展覧会場 ☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催

◇印:(公財)日本美術刀剣保存協会共催

① ☆現代の京都画僧 齋藤真成展 4月1日～4月27日(27日間)

入場者数:一般1,506名/児童生徒学生61名/計1,567名

天台宗の古刹・京都真正極楽寺真如堂の前貫主で、関西画壇の重鎮として国際的に活躍している画家・齋藤真成(1917～)は名古屋に生まれ、幼少期に南画家・服部五老(鶴岡出身)のもとで育ち、当地ともゆかりが深い。本展は昭和53年に神戸市・大橋家より受贈した「大橋コレクション(油彩画39点)」を中心に32点を紹介した。

② ☆古絵図大集合 出羽一国大絵図展 4月29日～5月26日(28日間)

入場者数一般3,914名/児童生徒学生347名/計4,261名

近世に描かれた古絵図は現在では想像もつかない地理感覚があり、山川の移り変わりなど、当時を生きた人たちの世界観・地域観を知ることができる。本展は所蔵の「出羽一国之絵図」(敷:11.8×5.09m)を中心に、県内にある近世の古絵図(世界地図・日本図・領国図・城下絵図など)23点を出品し、古絵図の魅力を紹介した。山形県立博物館・本間美術館より出品。

③ ☆駒澤大学所蔵コレクション展 禅ZEN ～描かれた禅の世界～ 6月1日～7月10日(40日間)

入場者数:一般4,391名/児童生徒学生148名/計4,539名

本年は臨済宗の宗祖・臨済禅師の1150年大遠忌の年に当たり、鎌倉時代以来全国各地に広がった禅宗(曹洞・臨済・黄檗)は各地に根ざして多くの信仰を得てきた。県内にも多くの曹洞宗寺院が存在する。本展では吉祥寺梅檀林の学寮時代から400年余りの伝統を受け継ぐ東京・駒澤大学の所蔵コレクションの中から白隠・仙涯などの絵画作品27点を紹介した。期間中、駒澤大学の広瀬学長の講演会を実施した。

④ ☆生田宏司 銅版画メゾチント展 7月12日～7月31日(20日間)

入場者数:一般3,336名/児童生徒学生156名/計3,492名

生田宏司(1953～、鶴岡市出身)は、日本を代表するメゾチント技法による銅版画家の一人。多摩

美術大学卒業。元東北芸術工科大学講師。上野泰明、加山又造、堀文子に師事。アメリカ、フランス等で受賞、国際的に活躍中である。本展は「ふくろう」、「猫」、「花」をテーマとした作品を中心に56点を出品し、繊細かつ緻密で色彩に富んだメゾチント作品を鑑賞した。期間中、作家によるギャラリートークも実施した。

- ⑤ ☆◇日本名刀展シリーズ 平成28年新作名刀展 ー現代の刀工と刀職ー 8月3日～8月25日(23日間)  
入場者数:一般3,265名/児童生徒学生432名/計3,697名  
日本名刀展シリーズ第39回展。毎年6月に東京・刀剣博物館で開催する同展の巡回展で、現代の刀工と刀職による刀剣と刀装具の入賞作33振、鐔・拵・柄前・白銀28点を展示、全国の現代刀工・刀職たちが時代的特色や流派の特徴などを取り入れながら作刀制作した作品の工芸美を鑑賞するとともに長い歴史に培われた日本人の美意識と伝統の技を紹介した。東京・日本美術刀剣保存協会共催。銘切の実演を実施。
- ⑥ ☆没後25年 洋画家 菅野矢一展 8月27日～9月28日(33日間)  
入場者数:一般3,744名/児童生徒学生380名/計4,124名  
洋画家・菅野矢一(山形市出身、1907～1991)は文展に初出品・初入選し上京、川端画学校に入り安井曾太郎に師事、一水会、日展に出品し続け、二度の日展特選など数々の受賞を重ねてきた。1982年《くるる蔵王》で日本芸術院賞を受賞し、日本芸術院会員となった。本年は菅野画伯没後25年にあたり、寄贈作品のほか人物や雄大な風景を独自の構図で描いた作品25点を出品し、鑑賞した。
- ⑦ ☆SAMURAIの美 出羽庄内藩酒井家のゆかり名品 10月1日～10月30日(30日間)  
入場者数:一般11,104名/児童生徒学生1,234名/計12,338名  
徳川四天王の一人・酒井忠次を祖とする酒井家は、江戸時代初期の元和8年(1622)に藩主として庄内に入部、以来250年の間庄内地方を領国経営してきた。本展は大名酒井家に伝来してきた国宝・重文の刀剣をはじめ美術工芸品、歴史資料など45点を出品した、展示機会が少ない文化財や資料を鑑賞し、歴史と文化を考える一助とした。東京・刀剣博物館や本間美術館、黒川能上座・下座などの借用の刀剣・甲冑・能装束等も出品。また、人気オンラインゲーム&スマートアプリ「刀剣乱舞-ONLINE-」の[信濃藤四郎吉光]と連携し、刀剣女子など多数の見学者が訪れた。
- ⑧ ☆庄内女流陶芸家の現在 刈てる子・太田金子・藤本幸子・下妻さき子・中村美 11月2日～11月29日(28日間)  
入場者数:一般2,798名/児童生徒学生484名/計3,282名  
「やきもの」は現在人気があり、当地には先駆けて活躍してきた女流陶芸家が少なくない。作陶・絵付け・陶芸教室など活動の範囲や分野も様々だが、作家それぞれが経験によって培われた技術を持ち、個性豊かな作品を作り出している。庄内在住の女流陶芸家5人による作品計81点を出品、「手」が生み出す作品世界を鑑賞した。期間中、出品の女流陶芸家によるワークショップなどを実施した。
- ⑨ ☆所蔵コレクション展 近世の絵画と書蹟 12月15日～H28.1月24日(30日間)  
入場者数:一般657名/児童生徒学生326名/計983名  
当館は多くの方々から絵画や書蹟、工芸品に至るまで様々な美術資料を寄贈されている。本展はこれらの美術品の中から、江戸中期から幕末に描かれた絵画や書蹟で、初出品の細井広沢絶筆書翰附太宰春台・細井知文添書や服部南郭二大字「佩蘭」などの掛軸や塙養拙斎「林和清・琴高仙人図」屏風を出品、江戸時代の書画を鑑賞した。
- ⑩ ☆歴史の扉 ～街道と海道～ 1月27日～3月1日(31日間)  
入場者数:一般1,107名/児童生徒学生217名/計1,324名  
庄内酒井家に伝わる江戸時代の古文書を中心に、今回は「列島の道」「出羽の道」「庄内藩領の道」「江戸へ、京都へ」「最上川と酒田湊」「日本海海運」「信仰の道」に分け、江戸・大坂までの道中図や県文「最上川絵図」などの川絵図、北前船の海運関係史料等を展示。当地における交通・交易の歴史を示す古地図・古文書を紹介した。
- ⑪ ☆鶴岡雑物語(於:御隠殿) 3月1日～4月3日(34日間)  
入場者数:一般4,976名/児童生徒学生316名/計5,292名  
城下町鶴岡に伝わる古典雑を紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識するため、旧庄内藩主酒井家や市内旧家で所蔵の江戸中期から明治期の雑人形や大名家の雑道具を拝借し展覧し、併せて鶴岡市内の菓子店からの雑菓子も展示した。また東京・川内由美子コレクション(アンティーク食器ミニチュアコレクション2000ピース)を特別出品していただき、川内氏のギャラリートークや雑菓子づくりを実施した。

(2) 個展・グループ展示事業 於:美術展覧会場

①第37回 鶴岡書道会会員展 (共催)

12月1日～12月12日 (11日間)

入場者数:一般 451名/児童生徒学生 41名/計 492名

昭和9年に設立された鶴岡市を中心とする書道団体。会員の作品32点とともに鶴岡市と友好都市の江戸川区の書道連盟幹部の賛助作品5点を展示鑑賞した。

(3) ロビー展示事業 ※主催は各団体

於:講座室・ロビー

① 第13回 庄内姉様人形教室受講生作品展

11月4日～11月6日 6名が制作した作品を

展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形(紙人形)を宣伝するとともに受講生の作品発表の場とした。

② 第7回「砂の会」作品展

11月9日～11月13日 (5日間)

加藤景一氏主宰する「砂の会」会員が制作した作品を展示、砂を素材に絵画的作品や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

③ 第8回 寒蘭展 (鶴岡東洋蘭同好会と共催)

11月21日～11月27日 (8日間)

鶴岡東洋蘭同好会の一部会員が育てている日本蘭と中国蘭の寒蘭約20鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。

④ 第10回 東洋蘭展 (鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共催) H29.3月14日～3月20日 (7日間)

日本春蘭と中国春蘭あわせて約120鉢、蘭に因む掛軸額装作品7点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

①企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演

H28 5月7日(土) 於:展覧会場 「古絵図大集合 出羽一国大絵図展」 テンジかいせつ (小学生向)

講師 佐藤淳学芸員 参加者 13名

5月15日(日) 於:展覧会場 「古絵図大集合 出羽一国大絵図展」 ギャラリートーク

講師 本間 豊学芸部長 参加者 63名

6月18日(土) 於:展覧会場 「鶴岡学コレクション展 禅ZEN 描かれた禅画」 ギャラリートーク

講師 塚田博駒澤大学禅文化歴史博物館学芸員

7月12日(火) 於:展覧会場 「生田宏司 銅版画メゾチント展」 アーティストトーク

講師 生田宏司氏(版画家) 参加者 40名

8月6日(土) 於:展覧会場 「平成28年新作名刀展」 刀剣鑑賞入門講座

講師 酒井忠久館長 参加者 75名

8月6日(土)・7日(日)・13日(土)・20日(土)・21日(日) 於:展覧会場「平成28年新作名刀展」

講師 上林恒平刀匠の銘切り実演

9月11日(日) 於:展覧会場 「没後25年 洋画家 菅野矢一展」 ギャラリートーク

講師 佐藤淳学芸員 参加者 20名

10月8日(日)・23日(日) 於:展覧会場 「SAMURAIの美出羽庄内藩酒井家のゆかり名品」 ギャラリー・トーク

講師 本間 豊学芸部長 10/8 120名、10/23 80名

11月12日(日) 於:講座室 「庄内女流陶芸家の現在」展 制作体験

講師 太田金子氏(陶芸家) 20名参加

11月16日(水) 於:講座室 「庄内女流陶芸家の現在」展 実演&トーク

講師;中村知美氏(陶芸家) 16名参加

11月19日(土) 於:講座室 「庄内女流陶芸家の現在」展 実演&トーク&制作

講師:勝木章子氏(陶芸家) 23名参加

11月23日(水) 於:講座室 「庄内女流陶芸家の現在」展 制作体験

- 講師：下妻さき子氏（陶芸家） 12名参加  
 H29. 2月4日(土) 於：展覧会場 「歴史の扉～街道と海道～」展 ギャラリートーク  
 講師 菅原義勝学芸員 参加者 50名  
 3月1日(土)・19日(日)・20日(月) 於：御隠殿 「鶴岡雛物語」展スペシャルトーク  
 講師 川内由美子氏 参加者 3/1：34名、3/19：40名、3/20：34名  
 3月5日(土) 於：展覧会場一階ロビー 「鶴岡雛物語」展 雛菓子作りの体験  
 講師 住吉屋菓子店 参加者 30名

## (2) 出版事業

- ① 企画特別展図録目録の発行

## (3) 広報事業

- ① 広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。

## 3. 公益目的事業3 (事業内容～国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

### 3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理制度により鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

#### (1) 施設保存管理事業

##### ① 外構管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泔池の清掃浄化を行った。

##### ② 建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常掃除、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。

平成25年度から夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

#### (2) 展示事業

- ① 藩校致道館の沿革・教育・制度・積奠・施設などに関する資料を展示、随時キャプションの改訂を行った。

- ② 御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語」素読をBGMで流した。

#### (3) 普及教育事業

##### ① 藩校致道館教育体験教室・講座

7月30日(金)～8月1日(日) 於：旧致道館 夏休みサポート 江戸時代の学校「致道館」を調べよう  
 講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 延出席人数16名

##### ② 「孔子祭・致道館の日」式典(主催・致道館文化振興会議)

9月24日(土) 於：旧致道館 内容／ 祭典・祝文奉読・論語素読・講経・講演  
 児童生徒論語体験作文発表(参集殿) 参加者87名

##### ① 研修会・講座(主催・各種団体)への協力

4月3日 慶應義塾大学先端生命科学研富田研究室新入生研修 10名  
 4月14日 新採教員初任者研修「鶴岡の教育精神と庄内論語の素読」(主催・鶴岡市教育委員会) 25名  
 4月25日 鶴岡市信用金庫新入職員研修会(主催・同金庫) 15名  
 6月21日・27日 鶴岡市観光ガイド協議会 庄内論語素読研修・ガイド研修 計19名  
 7月28日 慶應義塾大学サマーバイオカレッジ2016 19名  
 8月30日 慶應義塾大学庄内セミナー 「致道館教育と論語素読」 35名



9月25日 鶴岡市芸術祭参加 表千家同門会茶会 282名  
 10月 9日 歴史まちづくりシンポジウム（主催：鶴岡市） 135名  
 10月19日 日本新聞大会（山形大会）視察研修 33名  
 3月 9日 東北電力株式会社鶴岡営業所「地域を学ぶ研修と清掃活動」 11名  
 その他6団体が使用、講師・富樫恒文統括文化財保護指導員 以上受講者数711名

④学校授業への協力

学校の課外授業（「致道館学習」と「論語素読」を勉強）として使用

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 鶴岡市内15校 17学年の児童 783名

⑤来館者への藩校致道館に関する解説説明、相談助言

⑥伝統文化の継承普及イベントに共催

9月25日 於：旧致道館 表千家同門会茶会 282名

⑦旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』多く頒布した。

⑧広報活動

新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につ  
 とめ、主催事業については鶴岡市内の各学校を通じてチラシを配布して周知を図った。

4. 収益事業1（事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍や  
 グッズ等の販売）

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作って販売を行った。

所蔵資料を掲載したクリアファイルなどのオリジナルグッズを作成し販売した。

(2) 軽食喫茶店等の賃貸事業

軽食喫茶店舗(店名・荘内藩しるけっちあーの)として㈱オールケッチャーノに賃貸した。

# 庶 務 の 概 要

平成29年3月31日現在

## 1. 役員に関する事項

順不同・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事12名)			評議員	加藤 忍	鶴岡市教育委員会教育長
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会会長	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
理事	犬塚 幹士	鶴岡市文化財保護審議会委員	〃	上林 恒平	刀匠
〃	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会長、前ほとりお館長	〃	岸 善一	山形県立博物館長
〃	加藤 徹三	前(財)北斗会評議員	〃	斎藤 秀	(株)きらやか銀行鶴岡支店長
〃	酒井 英一	鶴岡市文化財保護審議会副会長	〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事
〃	酒井 忠順	(公財)本間美術館評議員・東北公文大評議員	〃	橋本 政之	致道館文化振興会議会長
〃	本間 明	鶴岡市教育委員会社会教育課長	〃	早坂 剛	鶴岡市観光連盟会長
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	〃	本間 謙三	(公財)本間美術館副理事長
〃	田中 茂雄	(公財)東北振興研究所理事長	〃	三浦 恒祺	白鷹社委員長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会長	〃	山田 鉄哉	松ヶ岡園藝場理事長
〃	三矢 正士	致道館文化振興会議事務局長	(監事2名)		
〃	本間 豊	(公財)致道博物館学芸部長	監事〃	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役社長
(評議員15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	阿部 進	四川地区高等学校長会代表(鶴岡工業高校長)	(顧問2名)		
〃	石原 純一	鶴岡観光協会会長	顧 問	榎本 政規	鶴岡市長
〃	伊藤 博	(株)荘内銀行常勤監査役	〃	田中 尹	前鶴岡織物工業協同組合理事長
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長			

## 2. 役員会に関する事項

### ■ 理 事 会

開会月日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
平成28年 6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業報告の件</li> <li>平成27年度収支決算の件</li> <li>平成27年度国指定文化財管理費補助事業収支決算 及び 平成28年度同事業収支予算の件</li> <li>平成27年度重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業報告及び収支決算の件</li> <li>松ヶ岡施設の鶴岡市へ売却、及びそれに伴う「定款」別表第1の件</li> <li>平成28年度定例評議員会開催の件</li> <li>任期満了につき評議員候補者推薦の件</li> <li>理事の補充候補者推薦の件</li> <li>「大宝館」指定管理の件</li> </ul>	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了 承 了 承 了 承
平成28年 9月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大宝館」指定管理の件</li> <li>重要文化財色々威胴丸修理の件</li> <li>重要文化財旧西田川郡役所ほか防災施設工事の件</li> <li>構内トイレ棟リノベーション工事の件</li> </ul>	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認
平成28年 2月 5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度補正予算の件</li> <li>平成29年度事業計画の件</li> <li>平成29年度収支予算の件</li> <li>平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業の件</li> </ul>	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認

■ 評議員会

開 会 月 日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
平成28年 6月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度事業報告の件</li> <li>・平成27年度収支決算の件</li> <li>・松ヶ岡施設の鶴岡市へ売却、及びそれに伴う「定款」別表第1の件</li> <li>・任期満了につき評議員改選の件</li> <li>・理事補充選任の件</li> <li>・理事会決議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成27年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成28年度同事業収支予算の件</li> <li>②平成27年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理収支決算及び平成28年度収支予算の件</li> <li>③構内トイレ改修の件</li> <li>④「大宝館」指定管理の件</li> </ul> </li> </ul>	可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 了 承 承 了 承 承 了 承 承 了 承 承

■ 執行役会議 毎月1回開催（4月12日、5月12日、6月8日、7月8日、8月9日、9月9日、11月9日、12月19日  
平成29年1月10日、2月7日、3月9日）

■ 監 査 6月5日（平成27年度会計監査）

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛 所	内 容	備 考
4月 1日	山形県知事	平成28年度山形県博物館事業共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	平成28年度教育関係事業（致道博物館展示事業）共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成28年度文化団体等連携支援（展覧事業）共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成27年度国指定文化財(旧西田川郡役所)管理費補助事業実績報告書	5月24日付で交付確定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園) 〃	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成28年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書(旧警察署庁舎)	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成28年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(旧警察署庁舎)	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成28年度国指定文化財(旧西田川郡役所)管理費補助事業申請書	4月1日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園) 〃	4月1日付で交付決定
〃	〃	平成28年度鶴岡市文化資源調査保存事業申請書	4月1日付で交付決定
4月17日	鶴岡市長	平成27年度鶴岡市文化資源調査保存事業実績報告書	4月27日付で交付額確定
4月30日	山形県知事	平成27年度山形県博物館事業共催実績報告書	5月24日付で交付額確定

4月30日	鶴岡市長	平成27年度致道博物館展示事業実績報告書	
〃 3月31日付にて提出	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成27年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月26日付で交付額確定
7月5日	文化庁文化財部長	係官派遣申請書(重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	
〃	山形県教育庁	職員の派遣について(同上)	
7月7日	鶴岡市長	平成28年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
8月8日	文化庁長官	計画変更承認申請書(平成28年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	8月24日付で承認
〃	山形県知事	平成27年度山形県文化財保護事業費補助金事業計画変更申請書(重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	8月24日付で承認
〃	鶴岡市長	計画変更承認申請書(〃)	
8月10日	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書	8月10日付で受理
9月1日	山形県教育委員会	所在の場所変更届(県文高麗青磁平象嵌ほか計3点/SAMURAIの美 酒井家ゆかりの名品展)	
10月6日	山形県知事	平成28年度山形県国指定文化財管理費補助事業の状況報告	
10月13日	鶴岡市長	平成28年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
10月20日	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書(松ヶ岡施設)	10月20日付で受理
11月13日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備)点検報告書(史跡松ヶ岡開墾場内、四番蚕室及び收藏庫)	11月13日付届け出
12月17日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画)	12月17日付で受付
12月27日	〃	喫煙等承認申請書(重要文化財旧浪谷家住宅内の囲炉裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書)	1月4日付で承認
平成29年1月10日	〃	消防訓練通報書(第62回文化財防火デー・防火訓練実施)	12月17日付で受付
1月12日	鶴岡市長	平成27年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
1月17日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書の提出について(お願い)	2月1日付で回答
1月23日	〃	消防用設備等(動力消防ポンプ設備)点検結果報告書	1月23日付で受付
1月30日	〃	消防用設備等(特殊消防用設備等:消火器)点検結果報告書	1月30日付で受理
2月3日	文化庁長官	平成29年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書	4月3日付で交付決定
2月7日	〃	国宝・重要文化財の公開許可について	4月7日付で許可
3月31日	〃	平成28年度国宝重文等保存整備費補助金実績報告書(旧警察署庁舎)	4月18日付で確定通知
〃	山形県知事	平成28年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(旧警察署庁舎)	4月21日付で確定通知
〃	鶴岡市長	平成28年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書(旧警察署庁舎)	4月24日付で確定通知

#### 4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
4月1日～29年3月31日	山形県金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月1日～29年3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月1日～29年3月21日	鶴岡市教育委員会 (大宝館:郷土人物資料展示施設)	郷土人物資料展示として[斎藤清人]の資料として、刀剣押形、『豊前守藤原清人』、『特別展 山形の刀剣』計 3点
4月1日～29年3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点

4月 1日～29年3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネパンドリ 1点
4月 1日～29年3月31日	(公益)日本橋絵 相撲博物館	泉滝福治使用の化粧廻し 1点 (潘田代 佐藤弘氏所蔵 当館寄託)
4月 1日～6月30日	史跡藩校致道館	展示資料として 荻生徂徠筆七言詩「巫山高」 1幅
4月 6日～ 6月11日	長野市立博物館	企画展[ながはく春の陣 川中島を行き交った武将たち]に、 紺糸威二枚胴具足 1領、酒井忠勝公肖像 1幅 計2点
7月1日～10月31日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井弥平筆「楊烟五絶 夜送
8月20日～11月20日	酒田市立資料館	第198回企画展[港・酒田と海の恵み]に佐藤梅宇「飛鳥図絵(模写)」 1点
8月21日～11月20日	福岡市博物館	特別展「釣道楽の世界ー多彩なる水の趣味文化」に 酒井忠篤公御 獲赤鯛魚拓 1幅、文政13年河北秋親友銘 他庄内竿 3点 計4点
8月10日～10月 8日	本間美術館	[すごいぞ!日本の美術]展に酒井忠發所用紫裾濃腹巻 他 計3点
9月11日～29年1月8日	鶴岡市郷土館・野村新 撰組のふるさと歴史館	巡回展[「剣客集団のその後～新撰組・新徴組の変容と終焉～」に、 黒崎研堂日誌 1冊
10月14日～12月27日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井重固筆 五言絶句「夏日山中」 1点
12月20日～	株式会社ムラヤマ	生誕90年/没後20年記念「藤沢周平展」(巡回:日本橋三越・姫路文学館・北九州市立文学館・藤馬区立ふるさと文化館)に、山本甚作画「鯉しぐれ」挿絵原画 計10点
平成29年 1月5日～3月31日	史跡藩校致道館	展示資料として「毛詩 国風・周南一 關雎三章・葛覃三章」 1点
3月23日～	東京国立博物館	特別展「茶の湯」に、重文「無準師範筆禅院額字 潮音堂」 1点

## 5. そ の 他

月 日	主 な 事 項
4月 12日	山形県教育庁文化財・生涯学習課より平成27年度重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業の検査。
4月 14日	午後から強風により、旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・受付棟に被害を被る。
4月 19日	鶴岡市教育委員会より平成27年度史跡致道館の指定管理の監査。
5月 18日	山形県文化環境部生活文化課より会計検査(平成27年度山形県博物館事業(観覧料)共催負担金)
5月 24日	防災検討会(参加8名)
5月 30日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事(第3期)完成検査。
6月 30日	防災検討会(参加8名)
8月 11日	松ヶ岡施設の消防査察。
9月 5日	文化庁・金井健調査官が来館、重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業に関する現地指導。
9月 20日	旧渋谷家住宅 北側の送水管経年劣化で漏水いたため、修理工事を行う(10月5日まで)
10月 1日	「SAMURAIの美 出羽庄内酒井家ゆかりの名品展」開幕式 多数の来館者で館内混雑。
11月 4日	山形県教育庁より公益法人検査。
11月 17日	本間美術館と姉妹館交流会(於:潘田市仲・レストラン) 20名参加。
10月 21日	構内トイレ・リノベーション工事入札会 ㈱山口工務店が落札。工期は11月～翌年2月。
12月 12日	会計検査院の国庫補助事業検査(重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)
12月 27日	第1回防火訓練(避難・通報訓練)15名参加。

平成29年 1月15日	旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始（3月中旬まで）
1月24日	第2回防火訓練（総合訓練）15名参加。終了後館内施設の消防査察。
2月12日	先賢を偲ぶの会 42名参加
2月17日	友の会世話人会 31名出席
2月25日	東京友の会のつどい（東京・江戸川区タワーホール船堀）102名参加。構内トイレ工事終了。
3月27日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事 28年度出来高検査。

# 資料-1 入館者数(月別)

## ■致道博物館

月	年度	一般			学 生		小中学生		招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者	友の会		
4月	28年度	1,313	300	339	24	6	55	0	39	2,076
	前年度	1,624	384	655	121	0	70	0	44	2,898
5月	28年度	3,143	1,085	564	78	118	186	0	76	5,250
	前年度	2,875	657	411	91	45	182	0	81	4,342
6月	28年度	1,814	980	436	12	0	82	0	71	3,395
	前年度	1,796	1,482	398	20	41	56	0	61	3,854
7月	28年度	1,842	975	471	54	12	69	0	115	3,538
	前年度	1,864	706	370	39	38	256	0	120	3,393
8月	28年度	3,134	266	457	190	14	268	0	71	4,400
	前年度	2,852	441	460	195	16	477	0	58	4,499
9月	28年度	1,964	1,137	346	79	0	281	0	56	3,863
	前年度	3,593	949	802	110	12	224	0	40	5,730
10月	28年度	8,357	1,888	1,008	644	117	477	0	134	12,625
	前年度	2,515	1,441	632	34	21	206	0	157	5,006
11月	28年度	1,650	657	596	32	37	438	0	177	3,587
	前年度	1,949	1,053	532	24	1	476	0	297	4,332
12月	28年度	425	52	214	12	0	41	0	19	763
	前年度	386	199	224	24	0	37	0	57	927
1月	28年度	311	61	219	38	13	324	0	36	1,002
	前年度	335	11	181	11	2	139	0	37	716
2月	28年度	480	34	344	23	10	143	0	21	1,055
	前年度	483	55	240	33	1	259	0	27	1,098
3月	28年度	2,667	257	1,280	85	3	172	0	293	4,757
	前年度	1,442	437	707	86	6	67	0	253	2,998
合計	28年度	27,100	7,692	6,274	1,271	330	2,536	0	1,108	46,311
	前年度	21,714	7,815	5,612	788	183	2,449	0	1,232	39,793

## ■松ヶ岡観覧施設

月	年度	一般			学 生		小中学生		招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者	友の会		
4月	28年度	127	88	130	1	0	8	0	0	354
	前年度	213	125	97	1	0	10	0	7	453
5月	28年度	201	0	95	44	0	12	0	4	356
	前年度	275	0	94	48	40	9	0	6	472
6月	28年度	104	48	115	57	0	5	0	8	337
	前年度	171	117	77	0	0	3	0	5	373
7月	28年度	125	40	97	9	0	29	0	4	304
	前年度	155	105	89	0	0	65	0	11	425
8月	28年度	175	8	194	56	0	17	0	4	454
	前年度	211	38	107	16	0	60	0	0	432
9月	28年度	279	12	199	66	0	35	0	7	598
	前年度	144	24	75	25	3	37	0	11	319
10月	28年度	395	102	131	4	1	5	0	1	639
	前年度	142	120	97	1	0	2	0	0	362
11月	28年度	139	19	41	1	0	31	0	0	231
	前年度	128	0	81	82	0	32	0	5	328
12月	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	36	0	7	0	0	1	0	0	44
合計	28年度	1,545	317	1,002	238	1	142	0	28	3,273
	前年度	1,475	529	724	173	43	219	0	45	3,208

## 資料一2 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,059	32,328	118,387
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793
平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311
総計	4,643,976	1,326,991	5,970,967

\*1 昭和25年4月14日開館

\*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～12/31

\*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

\*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31



### 資料－3 友の会会員数

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助会員	東京友の会員	学生会員	合計
平成28年度	245	104	1,320	61	171	2,353	4,254
平成27年度	237	104	1,349	58	188	2,375	4,311
増減	8	0	△29	3	△17	△22	△57

※小中生会員は平成25年度より廃止しました。

### 資料－4 旧藩校致道館・平成28年度入館者数

単位：人数

月別	一般	学生	幼小中	合計
4月	2,545	45	183	2,773
5月	3,093	37	151	3,281
6月	2,111	14	182	2,307
7月	2,351	35	134	2,520
8月	2,305	156	149	2,610
9月	2,575	51	100	2,726
10月	3,536	96	204	3,836
11月	1,840	16	168	2,024
12月	997	7	102	1,106
1月	802	2	135	939
2月	771	13	26	810
3月	1,382	57	83	1,522
	24,308	529	1,617	26,454

# 資料-5 平成28年度新収蔵美術品

【寄贈】

種類	作者名	作品・資料名	制作年	材質・技法・形状・員数	寸法 cm
絵画資料	酒井 忠器	「布袋図 百面贊」	江戸後期	絹本・墨画・軸装 1幅	120.0×42.0
絵画資料	酒井忠徳・忠器	忠徳「和歌短冊」/忠器「郭公図」色紙	江戸後期	紙本・墨書・軸装 1幅	短冊:37.6×6.2 色紙:19.2×18.2
絵画資料	石井 子龍	山水図	江戸後期	紙本・墨画・軸装 1幅	66.5×40.5
絵画資料	市原 円譚	「観音図」	明治前期	紙本・墨画淡彩・軸装 1幅	122.2×43.5
絵画資料	市原 円譚	「陽物放屁合戦絵巻(写)」	明治26年(1892)	卷子・紙本墨画淡彩 1巻	32.0×1084.0
絵画資料	加藤 雪窓	「富士図」	明治時代	絹本・墨画淡彩・軸装 1幅	133.0×42.0
絵画資料	酒井 忠宝	「大黒図」	明治時代	絹本・着色・軸装 1幅	119.5×42.5
絵画資料	酒井 忠宝	「西王母之御画」	明治時代	絹本・着色・軸装 1幅	120.0×41.5
絵画資料	酒井 忠宝	鳥羽絵「花下酒宴図」	明治時代	絹本・着色・軸装 1幅	124.6×51.0
絵画資料	松本 十郎	百面贊「鍛図」	明治44年(1911)	紙本・墨画・軸装 1幅	111.0×63.0
絵画資料	菊池 容齋	「堀河夜討」	明治時代	絹本・着色・軸装 1幅	162.0×84.2
絵画資料	山口 白雲	「蘭図(空山幽谷)」賛土屋竹雨	昭和15年(1940)	紙本・墨画・軸装 1幅	135.7×68.0
絵画資料	松平 穆堂	「登廐山」他	昭和20年(1945)他	紙本・墨画・軸装 16点	30.4×43.3 他
絵画資料	小貫 白堂	牡丹図	昭和28年(1953)	絹本・着色・軸装 1幅	125.0×42.3
絵画資料	小松 章三	「BODY&CIRCLE(B)」他	1964~1998年	紙本・エッチング・他/額装 20点	38.0×35.0 他
絵画資料	三井 永一	挿絵原画・下絵 関連資料	昭和~平成時代	紙本・墨画・まくり 3800点	
絵画資料	曲子 明良	「暮れゆく」	昭和~平成時代	紙本・着色・額装 1点	41.0×53.0
絵画資料	梅溪	「山川舟遊図」		紙本・墨画・軸装 1幅	42.7×57.0
絵画資料	富山	「蓬萊高砂図」		紙本・着色・軸装 1幅	134.2×60.5
絵画資料	不詳	「達磨図」		紙本・墨画・軸装 1幅	73.5×39.5
書蹟資料	酒井 忠発	「五大字 風景一時新」	明治時代	絹本・墨書・軸装 1幅	55.0×74.5
書蹟資料	酒井 忠篤	「三大字 萬籟響」	明治時代	紙本・墨書・額装 1面	40.2×105.8
書蹟資料	酒井 忠篤	『論語』理仁編内一節「忠恕…」	明治時代	紙本・墨画・軸装 1幅	142.2×69.7
書蹟資料	酒井 忠篤	唐詩 杜牧「山行」	明治27年(1894)	紙本・墨書・軸装 1幅	150.0×57.5
書蹟資料	酒井 忠良	『詩経』大雅・文王七章「亡念…」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	151.7×82.2
書蹟資料	酒井 忠良	「一行書 福和内鬼者外」	昭和4年(1929)	紙本・墨書・まくり 1枚	41.7×165.7
書蹟資料	酒井 忠良	「三大字 楽有餘」	昭和12年(1937)	紙本・墨書・まくり 1枚	34.3×68.0
書蹟資料	酒井 忠良	「皇太后御歌」	昭和25年(1950)	紙本・墨書・軸装 1幅	53.5×78.0
書蹟資料	酒井 忠良	「神号 和久産巢日大神」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	131.6×33.0
書蹟資料	酒井 忠良	「神号 大宜津比大神」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	131.6×33.0
書蹟資料	酒井 忠良他	「寄書」	昭和時代	紙本墨書・折り本 1冊	21.0×16.2×2.6
書蹟資料	酒井 忠悌	「一行書 徳不孤必有隣」	昭和時代	紙本墨書・折り本 1冊	131.5×37.3
書蹟資料	酒井 忠悌	「一行書 千秋不動一聲仁」	昭和時代	紙本・墨書・まくり 1枚	131.5×37.3
書蹟資料	二條 基弘	「二行書」	明治時代	紙本・墨書・軸装 1幅	126.0×41.0
書蹟資料	黒崎 研堂	「二行書 和魂洋才仏神鬼手」	明治~大正時代	紙本・墨書・軸装 1幅	138.0×33.5
書蹟資料	黒崎 研堂	「七言詩」	明治~大正時代	紙本・墨書・軸装 1幅	138.3×66.7
書蹟資料	黒崎 研堂	「楠公遺訓帖」	大正3年(1914)	紙本・墨書・軸装 1幅	44.5×94.5
書蹟資料	石川 梧堂	「七絶 田勅題池邊鶴新年述懐」	昭和初期	紙本・墨書・軸装 1幅	139.2×33.3
書蹟資料	石川 継述	「七絶 皇子降誕奉祝歌之一」	昭和初期	紙本・墨書・軸装 1幅	139.3×33.3
書蹟資料	松平 穆堂	七絶 李白聞王昌齡「揚花…」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	136.8×67.6
書蹟資料	松平 穆堂	二行書「百萬石乃米と雖も…」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	136.0×33.5
書蹟資料	松平 穆堂	「貞明皇后行啓記念碑除幕式」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	180.0×95.0
書蹟資料	松平 穆堂	「五言絶句 桜祠に遊ぶ」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	138.1×33.5
書蹟資料	松平 穆堂	「二行書」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	84.3×33.8
書蹟資料	松平 穆堂	一行書「苟日新日々新又日新」他	昭和時代	紙本・墨書・軸装・まくり 37点	139.4×34.2 他
書蹟資料	菅原 兵治	橘曙覧 和歌「たのしみは…」	昭和時代	紙本・墨書・軸装 1幅	135.0×33.6
書蹟資料	西涯	「七言詩」	昭和時代	絹本・墨書・軸装 1幅	172.0×56.0
工芸品	山本 廣重	薙刀 銘武州下原廣重黒漆鞘・柄付	江戸時代	刀身:鉄/鞘:木製漆塗 1本	長さ:40.3、反り:2.1/ 全長:128.0
工芸品	守重	薙刀 銘上州住守重 黒漆鞘	室町時代	刀身:鉄/鞘:木製漆塗 1本	長さ:52.7、反り:2.4
工芸品	友次	槍(十文字槍) 銘友次黒漆鞘	室町時代	刀身:鉄/鞘:木製漆塗 1本	長さ:27.0 /全長:370.0
工芸品	川井 幸七	槍(十文字槍) 銘幕府土川井幸七十八翁作文久三年八月應本間氏需	江戸末期	刀身:鉄/鞘:木製漆塗 1本	長さ:17.9 /全長:330.0
工芸品	桂野 赤文	黒呂色塗打刀拵	江戸後期	木製漆塗 1腰	全長:106.0
工芸品	渡部在哉 桂野赤文	枝柿大小目貫	江戸後期	素銅地容彫置金色絵 4点	大:1.6×4.6、小:1.6×3.6
考古資料		羽黒町中川代遺跡出土 刻文付有孔磨製石斧(石鉞)他	中国古代	石製 3点 他	高さ:12.0、幅:8.0、 厚さ:1.0、重さ:335g